



スタートの 季節



春になり新たなスタートの季節です。町内では農村アカデミー入学式（左上）、しらかば大学入学式（左）など様々なスタートがきらめました。明倫小学校では、4月8日に入学式が行われ、唯一の新入生である宍戸晴香ちゃん（上）が少し、はにかみながら、先生に手を引かれ式場に入場しました。

暮らしの住事

その2

本年度、一般会計の予算総額は127億4111万円。特別会計をあわせた総額は214億2471万円となっています。先月に続き今年予算のあらましを第4期幕別町総合計画の6つの目標にあわせて紹介します。

自然と調和した 快適で住みよいまち

交通基盤の整備

町道は延長69.3kmに対し、改良率63.9%、舗装率54.1%とまだ多くの未整備道路を残していますが、緊急性や地域バランスを考慮しながら計画的に整備を進めています。今年度整備する主な路線は次のとおりです。

- 千住3線整備 410m
- 幕別札内線改良舗装712m
- (幕別札内線は本年3月に発注しているので13年度事業扱いとなります)
- 西1条2条仲通(錦町)改良舗装120m
- 若草東団地道路5号改良舗装180m
- 桂町2号通歩道改良舗装90m



計画的に行っている道路整備

町道の維持

町道の草刈等については道路管理者として道路パトロールなどを強化してきめ細かい対応を行います。除雪についても、委託体制の充実に努め、良好な交通環境の確保に努めます。

都市計画 マスタープランの策定

将来の住みよいまちづくりのための設計図である都市計画マスタープランの策定作業を昨年に引き続き行います。

具体的には、土地の利用や道路・公園の配置、暮らしやすい街並みの形成などについて、住民の皆さんの意見を伺いながら策定しています。

策定作業は、住民の皆さんの意向を広くお聞きするため、「まくべついいいや探検隊」を結成したほか、昨年実施した住民アンケートを基に作業を進めます。



住みよいまちを考える、いいいや探検隊

市街地整備

若草南公園の整備



今年度完成する若草南公園

住民の皆さんとのワークショップで整備内容を検討して3カ年計画で整備して来た若草南公園を完成させます。

今年度は遊具・東屋などを整備します。

下水道事業
昨年に引き続き札内桜町の幹線整備を行います。また個別排水事業として昨年同様40基の合併浄化槽を整備します。

人と人がふれあうまち

コミュニティ活動の促進

地域の連帯感を育み、人と人とのふれあい豊かなコミュニティ活動の拠点施設の充実を図ります。

札内東コミュニティセンターの外構工事
昨年建設した同センターの外構工事(駐車場8000㎡)を行います。

手づくりのまち推進委員会支援
「明るいまちづくり住民大会」の開催や美しい街並みづくりの実践を行っている同委員会の活動を支援します。



改築予定の稲志別近隣センター

稲志別近隣センター改築
老朽化のすすんだ稲志別近隣センターの改築を行います。

稲志別近隣センター改築

町民とともに歩むまち

住民参加

本年開設したホームページを利用して情報通信ネットワークを活用した情報の提供を行うだけでなく、電子掲示板を活用して広く町民の皆さんの意見を求めると共に意見交換の場としての活用を目指します。

市町村合併の取り組み
昨年度2回行った講演会なども踏まえて町の将来像がどうあるべきかを皆さんと共に考えて参ります。



大学教授を招いて行った合併講演会

地域の特性を活かした 活力のあるまち

財団法人幕別町農業振興公社の設立

競争に耐える足腰の強い、力強い農業の確立を目指して担い手の育成確保、農地流動化対策、農業支援システム充実の3事業を行います。

この3事業を総合的に推進するために表記の財団を幕別町・札内・帯広大正の3農協と共に設立し農業の発展と活力ある農村の育成を図って行きます。

具体的には農業従事者の高齢化と後継者不足により流動化する農地を円滑に担い手へ集積するための仕組みを作ります



情報センター整備予定地(旧少年自然の家)

(仮称)幕別町農業担い手総合情報センターの整備

農業振興公社の行う事業を効率的に行う中核的施設として、(仮称)幕別町農業担い手総合情報センターを新和地区に建設します。

センターの面積は約1000㎡で次の機能を備えています。

- 研修生の宿泊施設
- 新規就農を目指す研修生のために12部屋を整備します。
- 研修室
- パソコン研修なども行える研修室を整備します。
- 地図情報システム
- 農地流動化対策のための地図情報システムを導入します。
- 気象情報システム
- 町内の気象情報を1km間隔で提供できる気象情報システムを構築します。

以上のように、まくべつ農村アカデミーの内容充実とともに新規就農者や担い手の育成と研修体制の整備を図ります。

各種貸付の実施

農業経営や体質強化を目指して実施している各種制度資金やゆとりみらい総合資金の貸付を行います。

クリーン農業の推進

クリーン農業の積極的な推進と安全性を求める消費者のニーズに応える堆肥購入と切り返しに対する助成を引き続き行います。

家畜糞尿処理施設に助成
本年度新たに家畜糞尿処理施設の整備に対して助成を行います。

預託金増額

中小企業への貸付に利用されている北海道信用保証協会の原資の持ち出しがペイオフ解禁により廃止されるため、従来1億6千5万円だった貸付原資を7千万円上乘せして金融機関に預託して従来の貸付枠を維持します。

消費者相談員の配置

消費者意識の啓発と相談体制の構築のため、専任の消費生活相談員を配置して定期的に消費者相談を実施します。

進めています 行政改革

町では、行政改革推進委員会の答申を受け、行政改革の具体的な推進計画を平成13年度2月に決定しました。62項目からなる推進計画は、平成12年度から16年度までの5カ年を期間としています。

本年4月までの推進状況について、その主な内容をお知らせします。

行政改革推進計画

本町の行政改革は、昭和62年に第一次行政大綱を、平成8年に第二次行政大綱とその具体的な実施項目を定めた「検討事項」を策定し、取り組みを進めてきました。

現在推進している計画は、行政改革を進めるうえで基本的な指針である第二次行政大綱に基づき、再度、原点に立ちかえり、新たに策定したものです。

策定は、公募を含む町民15人で構成された「幕別町行政

改革推進委員会」に計画案を諮問し、同委員会の5回にわたる審議を経た答申を尊重したものです。

今回の推進計画の策定および推進にあたっては、次の4点を基本姿勢としています。

住民サービスの質の向上を目指す

本来あるべき行政の姿や事務事業のあり方を町民の立場にたつて見つめなおす

組織・機構の見直し

日常的に日々改革を推進する

事務事業の整理合理化

地籍調査

平成16年度からの事業実施に向け、14年度に専任職員を配置しました。

公共施設の休館日および開館時間の見直し

図書館の夜間開館（札内分館のみ毎週木曜日午後8時まで）、スポーツセンター、トレーニングセンターの年末年始を除く開館を実施しています。また、本年度から、老人福祉センターの開館時間を1時間延長しました。

農業支援体制の強化

本年度中に、農業振興公社の設立、仮称・農業担い手総合情報センターの整備を実施します。

押印の見直し

手続きの簡素化、利用者の負担の軽減を図るため、12年度から実施しています。

ダイヤルインの導入

役場への通話者の待ち時間を短縮するため、ダイヤルイン（各課直通電話）を導入しました。

入札予定価格の事前公表

入札の透明性、競争性を高めるため、入札予定価格の事前公表を本年度から実施しました。

乳幼児保育の充実

13年度から札内青葉保育所で乳幼児保育を実施しています。



コミュニティバスの運行

交通弱者への支援や公共施設の利用増進に資するため、コミュニティバスの運行を本年度試行します。

広報紙等の一本化・充実

「広報まくべつ」おしらせ、「スワディ」を平成15年1月号から一本化します。

町税納期数の拡大

一期あたりの納税者負担の軽減を図るため、平成13年度から、国民健康保険税の納期数を4期から6期にしました。

定員適正化計画の策定と推進

定員の適正管理

平成16年度までに12年度との比較で町職員を7人削減し236人にする計画でしたが、本年4月1日現在で、計画数に達しました。今後も適正な定数管理に努めます。

臨時職員の適正配置

事務事業量に応じ、臨時職員の適正な配置に努めています。

給与制度の適正化

特殊勤務手当の見直し

特殊勤務手当支給の対象となつている業務の内容等を精査し、見直しを行います。

寒冷地手当加算額の見直し

国家公務員に準じ、寒冷地手当の加算額を条例本則のみの支給とすることを13年度から実施しました。

時間外勤務手当・休日勤務手当の見直し

休日勤務手当、休日勤務手当のうち日常業務に係る支給総額を給料の7パーセント以内を目標に、13年度から、各課への配分方式を試行しています。

補助金等の整理合理化

新規補助金等の抑制

補助対象となる事務事業の公益性、補助効果、行政の役割分担等を十分考慮した上で、恒常的な新規補助金については、抑制しています。

団体等への補助金等の見直し

団体等への補助金のうち、補助目的を達成したものの、補助効果の薄くなったもの、自主自立が可能なものなどについて、補助金の廃止、整理統合を実施しています。

12年度は、5件を廃止、13年度は、1件を廃止、5件を縮減しました。

財政の健全化

バランスシートの作成

町財政の状況を把握する一つの指標として、バランスシート（貸借対照表）を作成し公表しています。

町税等徴収金の向上対策

横断的な徴収体制を構築するため、関係課による「町税及び使用料等収納率向上推進本部」を設置しました。

で、0.4パーセントから0.2パーセントに変更し、14年度に廃止しました。

民間活力の導入

各種業務の民間委託

専門性、技術力を要する業務や民間が優れたノウハウを有する業務については、可能な限り民間に委託しています。

今後新たな業務委託について検討していきます。

PFIの導入

公共施設等の建設・維持管理、運営に関して、民間の資金、経営能力等を活用し、効率的かつ効果的に実施する手法としてPFIの導入を検討し、13年度に公営住宅の建設事業を公募しましたが、応募がありませんでした。今後も導入に向け、検討していきます。

口座振込の推進

町職員の給与、一部非常勤特別職の報酬の口座振込みを13年度から推進しています。

百年記念ホールの

事業推進体制の充実

生涯学習課への一元化とともに、職員を増員しました。

受益と負担の公平確保

使用料・負担金等

受益者負担の見直し

適正な受益者負担に向け、資料の収集や検討に着手しています。

ごみ処理の有料化の検討

ごみ処理は、環境複合事務組合で処理していることから、構成市町村との共同歩調を図りながら、組合での検討に入っています。



下水道受益者負担金に係る前納報奨金の見直し

平成13年度に経過措置として

囲碁の指導をします



山口 清さん
 札内春日町316 - 10
 ☎56-3720
 (平成12年度認定)

書道の実技指導をします



箕浦 眞さん
 美川66
 ☎57 - 2115
 (平成3年度認定)

なつかしい歌の指導などをします



藤田和子さん
 札内桂町560 - 11
 ☎56 - 5515
 (平成4年度認定)

地理的な内容の講演・説明をします



飛田進次郎さん
 札内共栄町163 - 55
 ☎24 - 2648
 (平成4年度認定)

舞踊・カラオケ等の指導をします



妹尾初田子さん
 札内あかしゃ町61 - 40
 ☎56-4588
 (平成12年度認定)

カラオケの指導をします



島田伊蔵さん
 札内中央町410
 ☎56 - 3548
 (平成7年度認定)

木彫・木工芸の指導をします



郷 美智子さん
 旭町18 - 40
 ☎54 - 3739
 (平成12年度認定)

釣りの指導やお話をします



山本秋雄さん
 緑町10 - 25
 ☎54 - 3367
 (平成12年度認定)

社会に関する座談会、講話をします



古海公哉さん
 猿別55
 ☎54 - 2686
 (平成5年度認定)

パークゴルフの指導・マナーの指導をします



中田光義さん
 札内中央町319 - 24
 ☎56 - 4044
 (平成12年度認定)

菊栽培・野菜栽培の指導をします



妹尾良夫さん
 相川343
 ☎54-4089
 (平成6年度認定)

農機具の修理方法や茅葺屋根の製作を指導します



横山義春さん
 新和162 - 676
 ☎57-2643
 (平成4年度認定)

陶芸の指導をします



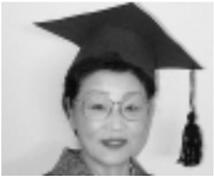
坂下 昇さん
 南勢190
 ☎57 - 2572
 (平成3年度認定)

パークゴルフの指導をします



伊藤一男さん
 札内青葉町304 - 21
 ☎56 - 3251
 (平成3年度認定)

日舞・剣詩舞の指導をします



村上喜久恵さん
 札内暁町271 - 113
 ☎56-5630
 (平成7年度認定)

社交ダンスなどの指導をします



前田節子さん
 緑町18 - 7
 ☎54 - 2362
 (平成3年度認定)

剣道の指導をします



中橋定雄さん
 札内青葉町13 - 6
 ☎56 - 4236
 (平成4年度認定)

木彫・木工芸の指導をします



高橋孝子さん
 札内青葉町304 - 2
 ☎56-3723
 (平成12年度認定)

社交ダンスなどの指導をします



正保重信さん
 札内中央町330 - 29
 ☎56-4632
 (平成7年度認定)

ボランティアの苦労話などのお話をします



飯沼寅蔵さん
 札内泉町79 - 56
 ☎56-4332
 (平成12年度認定)

ハーモニカの演奏・指導をします



須合順幸さん
 旭町21 - 96
 ☎54 - 2485
 (平成6年度認定)



「国際交流の夕べ」で南京玉すだれを披露する市丸珠巳さん

健康法と人生観についての講話をします



佐々木種樹さん
 札内青葉町7 - 13
 ☎56-3848
 (平成12年度認定)

菊づくりの指導をします



久保敏晴さん
 緑町4
 ☎54 - 2885
 (平成3年度認定)

菊づくりの指導をします



上原忠雄さん
 相川172
 ☎54 - 4188
 (平成5年度認定)

民謡の披露、歌唱・創作を伴う講演をします



九本栄一さん
 札内みずほ町160 - 60
 ☎56-4991
 (平成12年度認定)

座り踊り・南京玉簾などの演芸を披露します



市丸珠巳さん
 旭町18 - 24
 ☎54 - 2446
 (平成12年度認定)

陶芸の理論講話、実技指導をします



本宮 豊さん
 札内青葉町8 - 3
 ☎56 - 6703
 (平成12年度認定)

書道の実技指導をします



松井多平さん
 宝町128
 ☎54 - 2950
 (平成6年度認定)

書道の実技指導をします



野々村春雄さん
 札内新北町197 - 80
 ☎56 - 5717
 (平成4年度認定)

盆栽・園芸の指導をします



玉置敏夫さん
 南町34 - 3
 ☎54 - 2805
 (平成6年度認定)

茶道の指導・お茶会の手伝いをします



鈴木美智子さん
 札内泉町79 - 32
 ☎56 - 3391
 (平成12年度認定)

菊づくりの指導をします



藤田 勇さん
 札内桂町560 - 11
 ☎56 - 5515
 (平成3年度認定)

ゲートボールの指導をします



辻 久雄さん
 札内新北町28-10
 ☎56 - 2767
 (平成12年度認定)

大正琴の指導をします



角 常子さん
 札内あかしゃ町61 - 86
 ☎56 - 7263
 (平成8年度認定)

平成3年度からスタートした「幕別町人生学博士」は、これまでに89人の方々が認定してきました。平成13年度には、学校や老人クラブ、公区、個人、福祉施設などから実技指導等の依頼を受け、42人の博士が活躍しています。今回は、平成14年度に地域・老人クラブなどの活動で、実技指導やお話をしていただける博士を紹介します。

人生で学んだ事をおしえます 幕別町人生学博士

人生学博士制度とは

高齢者の豊かな知識や技能、経験を生かし、生涯を健康で生きがいをもって社会参加していただくことを目的とした制度です。

町内に居住する65歳以上の方を対象に各分野の優れた高齢者の方々を人生学博士として認定し、培った知識、技能などを各種行事や町内会活動を通して、まちづくり、地域づくりに生かしていただくとするものです。

指導や講演の依頼は本人に直接お問い合わせください。

海外研修に行ってきました

ニュージーランド・オーストラリアを訪問

平成13年度十勝生涯学習セミナー海外研修が、今年3月3日から3月15日までの13日間行われました。幕別町からは、遠藤信志さん、岡本和恵さん、丸山清美さん、高橋章友さんの4人が参加しました。4人の方の海外での感想をつづったレポートをご紹介します。

研修に参加して



遠藤信志さん
59歳・農業
(大豊)

私は労働時間と環境問題を研修目的に参加しました。私はオーストラリアの国はのんびりしていて、仕事は時間でやめると聞いていました。「今日残れば、また明日やれば」そうであったが今は違う。シドニーオリンピックに向かつて全員が団結して変わったと言っています。「明日の仕事今日」とはならないが、熱心に努力するようになったそうです。

次に環境問題。研修中は天候には恵まれて、気温30 近いシドニー市内ではハーバーブリッジ・オペラハウス・ミセスマッコーリーズポイントを見学。シドニーオリンピックの会場の横を通り、チロラー廃棄物ごみ処理施設見学。処理施設の建物はニューサウスウェールズ州のもの。従業員は民間企業委託でやっています。

シドニーでは年間100万トンのごみが出ます。処理場では、リサイクルと生ごみと分けて受けます。生ごみはコンバクトに

圧縮され埋立地に運ばれ、30m 地下に埋めて、そのメタンガスを利用して電力にかえます。リサイクルのごみは、ベルトコンベアで揺すりながら流れてくるのを、従業員がより分けるのです。アルミ・ペットボトル等は色別に分けられます。ガラス類も同じで、透明・グリーン・茶に分け、金属は磁石で行います。紙はダンボール・新聞・雑誌に分けます。

街にはごみ箱が3個並んでいて3色あります。生ごみ用、リサイクル用、ガーデン用になっています。環境保護局があり、ごみを燃やして煙等が上がる、すぐ来るそうです。粗大ごみは年2回収集ですが、空き地にすてられたら困るので、持ってくれば受け取っているとの事。車のバッテリー・オイルは特別処理をしてリサイクルしています。

1995年より、ごみ税も取り入れられています。ごみのリサイクル・削減のため過剰包装物は買わない等、気候・風土の違う国ですので、まねることは出来ないが、考えは同じです。私が研修で感じたことは、私たちは何の目的で存在するのだらうということ。自分の意志で存在した訳ではありません。私



ごみ収集をするパッカー車

は生きるためだと思う。私たちは本能は食欲と性欲で、生きる過程で先人の分身として、また自分の分身を残して、その分身の子どもたちの将来を思いやることは当然のこと。そこで環境問題が重要なことではないでしょうか。

オーストラリアでは小学校で車に乗らないように教えています。二酸化炭素が増すと温度が上がります。南極の氷が融けてオーストラリアが沈むと教えているので、怖いから車に乗らないで子どもに言われるそうです。

また、日本では外食産業の成長で、わりばしをよく使うようになりまし。私たちが1人ひとりが、1年間におよそ200膳のわりばしを1度きりの使用でごみ箱に捨てたら、木材の需要

の1%ですが、原料の木材で3LDKの木造の家2万戸建てられる量になると、ある書物に書いてありました。そのもとである森林は二酸化炭素を吸収して酸素を放出。その酸素を吸って生きているのが、私たち人間なのです。

オーストラリアのお店は日曜日は休みの店が多く、平日でも夜10時には閉まります。夜は車道も少なく、静かになります。十勝に四季があるように、1日に朝、昼、夜があると感じ、私たちは心の貧しさ・暗さを街灯、ネオンに明るさを求め過ぎているのではなからうかと感じました。

今一度、物不足の原点に戻り、限られた資源エネルギー、緑の自然を大切に、「めぐみ野に人が輝き 笑顔ふれあうまちまぐべつ」のまちづくりに手をつなぎたい。海外を見てそう感じました。

オーストラリア最後の夕食はシドニータワー。324m上にバイキングの食堂があり時計のように回転するので、食事しながら景色が見られました。海も夜の星もとてもきれいでした。ホームステイ等もあり、有意義な研修でした。感謝とお礼申し上げます。

クライストチャーチの街並



岡本和恵さん
49歳・無職
(桂町)

町の中心をエイヴォン川の清流が流れる、緑豊かなガーデン・シティ。南島最大の規模を誇るこの都市は、政治・経済・文化の中心地だが、自然と都市が見事に調和した優雅な雰囲気を感じ出している。

自然や花が大好きなニュージーランドの人々。規模の違いはあれ、どの家庭でも美しい庭があり手入れも十分行き届いている。2月にはフラワーフェスティバルも行われ、世界中から花好きが集まって来るとい。町の中心にあるゴシック様式の教会はクライストチャーチのランドマークであり、町を象徴する存在でもある。街は大聖堂を起点として東西南北に広がっている。広場には露店が軒を並べ、多くの人が集まっている。

街の中には電線・電柱がなく、フェンスもオープンスペースが感じられるように低いフェンスにするように市が働きかけている。広告・看板なども市街地では厳しいきまりがあり、シ

ティカンセル・回りの住民にも許可がいる。

住宅地では景観を壊さないように、条例に従わなければならない。また、市民1人ひとりが自分の街をきれいにしようという運動が盛んで、154のボランティア7500人で清掃が行われている。

学校の近くでも校内の用務員・子ども達と分かれ、地域を美しくする目的で、きれいを競い、市が賞を出している。また、郵便受けもステッカー(1ドル50セント)が貼られチラシなどもゴミになるので、入れて欲しいものだけメモするようにになっていた。

住民1人ひとりが自分の住んでいる街をきれいにしようとする心意気は、幕別町も見習っていきなさい事だと思った。

また、車はほとんどが日本車の中古のものが多く、免許の更新も10年に1度らしいが、2年前までは取得すると65歳まで乗れたそう。車道は車優先となっていて、横断歩道では信号が変わるのが早い。交差点は斜めに大急ぎで走っても、途中で信号が変わってしまうほどだった。

紫外線が強く、馬の背中には日よけのカバーが、かけられて

おり、この土地ならではの光景だった。自然との共存を大切に暮らしているこの国の人たちには、今の私たちが見習わなければならない事がたくさんある。



クライストチャーチの家。低いフェンス等で開放感がある。どの家も美しい花が咲いている

遙かなるニュージーランド・オーストラリア



丸山清美さん
36歳・無職
(緑)

世界各国の障害者が社会に参加する事で、福祉がどのように行われているか興味があり、また、聴覚障害を持った私が研修で感じた事、学んだ事を役立てられるようにしたいと思い参加した訳です。

ニュージーランドにあるクライストチャーチ大学は、どんな障害者でも受け入れ、車いすの人のために段差を無くしたり、エレベーターをつけたりしています。これは最近日本でも見られるようになって来ました。また、聴覚障害者のための通訳者が4人も用意され、足りない時は派遣してもらおうというシステムになっていますし、クライストチャーチ大学側が全て用意し、自己負担は一切かかりません。日本では筑波大学以外の大学では、そのような配慮が不十分のため、入学困難が多く見受けられます。

クライストチャーチ大学も昔は日本のような文部省からの指導に従って教育を行っていた時代がありました。時代とともに文部省の教育方法や考え方が合わなくなり、大学独自の方針で教育を行う全ての権利を持ち、教育を行うようになったそうです。

オーストラリアでは、点字誘導歩道をあまり見かけません。高度な医療の進歩のため、早期発見、早期治療で予防ができ、盲人の人数がかなり減ってきたのと、ほとんどの人に盲導犬が与えられているため、必要無いという事でした。医療技術

の進歩の速さ、盲導犬がたくさんいる事や、聴導犬も国が見てくれるという事に驚かされました。

また、アメリカADA法は、障害者に関する差別を無くするための法律で1990年に制定されたことを知っていたのですが、オーストラリアでは、すでに10年以上前から、障害者差別禁止法が制定され、ニュージーランドでは社会に障害者が参加する事を歓迎している事が分かりました。



研修中の丸山さんらの様子



●Town Topics●

まちの ニュース

公区・サークルの活動
などを企画室に連絡く
ださい

4/20

ふるさと館ジュニアスクール開講 サケの稚魚放流を体験



町ふるさと館ジュニアスクールの開講式を4月20日、幕別温泉緑館で行いました。これから一年間、登山やアイスクリーム作り、博物館めぐりなどの様々な学習が行われます。開講式のあと行われた第1回の学習で、ジュニアスタッフとなった70人の小学5・6年生たちは、途別川に2500粒の卵からふ化したサケの稚魚を放流しました。子どもたちは、大きくなって戻ってきて、との思いを込めて川に稚魚を放していました。

新たな希望を胸に まくべつ農村アカデミー入校式

4/12



まくべつ農村アカデミーの第7期入校式を12日役場で行いました。このアカデミーは、農業を始めたい人、農業後継者の方などを対象に、様々な研修を行い、農業の担い手を育成することを目的とした学習機関です。今年度は新規就農を旨とした、道外出身の方4人を含め、18人が新たに入校しました。

4/15

郵便ポストに感謝をこめて わかば幼稚園園児がポストを清掃



わかば幼稚園の園児32人が15日、幕別パークプラザ前の郵便ポストの清掃を行いました。これは、4月14日から20日までのポスト愛護週間に、ポストへの愛護と感謝の気持ちを深めてもらうために、幕別郵便切手販売協会（吉田正司会長）が主催して行われました。まだ、肌寒さが残るこの日、園児たちはそうきんで丁寧に汚れを落としました。その後、きれいになったポストに、お世話になった保育士さんなどにあてて書いた手紙を投かんしました。

4/20

土曜日の休みを楽しく過ごそう 小学生の木工教室を開催



4月からの完全学校週5日制の開始に伴い、幕別町では、小・中学生を対象としたジュニア・サタデースクールを開催しています。4月20日には、百年記念ホールで小学生を対象とした木工教室を開催。動物や虫を作る工作を、旭町にお住まいの郷孝男さんの指導により行いました。今回は13人の子どもたちと保護者9人が参加。子どもたちは、ベンチやニッパーなど慣れない工具に悪戦苦闘しながら木の小枝などを利用して、ウサギやフクロウなどを一生懸命作っていました。

開拓百年を祝う

新和地区で開拓百年記念式典・祝賀会を開催

新和地区が開拓百年を迎え盛大に記念式典を開催しました。式典終了後新田牧場を舞台とした映画も鑑賞しました。



新和近隣センター（写真左）と旧新和小学校（写真右）

新和開拓百年記念式典が記念事業協賛会（助川忠美会長）の主催で4月7日、新和近隣センターを会場にして開催されました。地域住民や以前の住民ら120人が参加し、百年の節目を盛大に祝いました。新和地区は、香川県出身の西川専内が1900年に20戸を引き連れて現在の茂発谷（もはちや）地区に入植したのが開拓の始まりです。1958年には109戸を数えた世帯数も現在は35戸となっています。新和地区にはホルスタイン種を使用した酪農に先駆的役割を果たした新田牧場があります。新田牧場は終戦直後の1947年に映画のロケ地となったこともあるほど景色のよいところで、現在も牧場内でホテル「オパールジュ・コムニ」が営業しています。また新和小学校（昭和62年閉校）跡地とその北側には、幕別ふるさと味覚工房と農業試験ほ場が設置されているほか、本年は（仮称）幕別町農業担い手総合情報センターの建設が予定されており、幕別町の農業情報の発信地となることが期待されている地域です。



あいさつする助川会長

当日は記念写真を撮影したあと助川会長が挨拶され、岡田町長・飛田JA幕別組合長・助川町議が祝辞を述べました。式典後、1947年に新田牧場をロケ地として撮影された、高峰秀子・池部良出演の映画「愛と星と共に」を鑑賞し、参加者は当時から振り返っていました。

Tracy and Helen are walking in the park.
トレイシーとヘレンは公園を歩いています。

Helen: Tracy, look at the birds in the pond.
ねえ、トレイシー、池にいる鳥を見て。

Tracy: They're ducks, aren't they?
ああ、カモですね。

Helen: I wonder if they understand English.
英語わかるかな？

Tracy: I doubt it. They look like Japanese ducks!
いや、そう思わないね。日本のカモみたい。

Helen: How can you tell?
ええ？何でわかるの？

Tracy: That one over there has a red spot on its wing!
むこうのカモは、はねに赤い丸がついているから！

Helen: That doesn't make it Japanese. It could be from Bangladesh. How about that one over there, it has a green spot on its back. Does that make it Lebanese?

それで日本のカモにはならないでしょう。バン
グラデシュのカモかもしれない。じゃあ、あつ
ちのカモは、背中に緑の点があるからレバノ
ンのカモとでも言いたい？

Tracy: Only if it can climb trees!
木に登られるならそうだよ！

Helen: The point is, you can't tell where they
come from just by looking. They all look
different but they are all the same.
まあ、ポイントを見るだけでどこから来たとい
うことはわかりません。みんな違う様に見える
けど、みんな同じカモなのです。

Tracy: No, the point is, which will make the best
Peking Duck!
いや、違よヘレン、ポイントはどれが一番お
いしい北京ダックにできるかです！

Helen: You don't understand anything, do you?
もう、トレイシーって本当に何もわかっていな
いね！

健康づくり ホットライン

正しく知ろうC型肝炎



スマイル君：こんにちは、保健師さん。あのね、C型肝炎
ってどんな病気？

保健師：あら、スマイル君こんにちは。今日は突然質問？
どうしたの？

スマイル君：僕のおじさんが気にしてるんだよ。20年前の大けが
で輸血を受けていて、最近話題のC型肝炎になってい
るんじゃないかと...。体調はなんでもないうって
いるけど。

保健師：なるほど、心配ね。まず、C型肝炎は、C型肝炎ウイル
スによる感染症よ。日本には200万人の持続感染者
がいると推測されているわ。血液を介してうつり、症
状は全身がだるくなったり、黄だんがでたりするけど、
症状がでる人は2、3割と低い。ほとんどの人には
症状がなくいつの間にか慢性化し、放っておくと肝硬
変や肝臓がんに進むおそれがあるわ。肝臓がんの8割
はC型肝炎が原因と言われているくらいよ。

スマイル君：えー、肝臓がんって治りにくいんでしょ。

保健師：肝臓は病気が進行するまで自覚症状がでにくいので、
発見が遅れがちなの。でも、肝炎について研究が進ん
で、早期発見・治療が可能になってきているわ。C型
肝炎について正しく知って、予防・発見・治療を進め
るために、国や町で対策を講じるようになったの。

スマイル君：そうなんだ。それで、どんな人がなるの？

保健師：以下のような人たちは、危険率が高いので積極的に検
査を受けて欲しい人よ。

- ・平成4年以前に輸血を受けた人
- ・大きな手術を受けた人
- ・産科の疾患その他で出血が多かった人
- ・麻薬乱用など注射器のまわし打ちをした人
- ・医療従事者など針刺し事故にあった人
- ・適切な消毒などをしないでタトゥ(イレズミ)やピアスをした人

まずは、血液検査でC型肝炎の抗体を調べることが多
いわ。

保健師：検査を受けておけばもう安心だね。

スマイル君：安心するのはまだ早いわ。感染していないとわかつた
ら、今度は感染しないように気をつけましょう。以下
のように血液が関係することは、感染の機会となりう
るので特に注意してね。避けられることは避けたいほ
うがいいわ。幸い、C型肝炎の感染力は弱いので、せき
や食べ物、食器の共用や握手などの日常生活で感染す
ることはほとんどないの。

感染の危険がある、このようなことは避けましょう！

- ・歯ブラシ、かみそりの共用
- ・よく知らない相手とのコンドームを使用しない性行為
- ・タトゥ(イレズミ)やピアスを非衛生的に行う
- ・他の人の血液に素手で触る

保健師：現在の輸血は検査体制が整っているの、安全性は確
保されているわ。やみくもに恐れることはないのよ。
町でも巡回ドックや基本健康診査と一緒にC型肝炎検
査を行う準備中よ。詳しくは5月15日号のおしらせに
掲載する予定よ。気になる人は、積極的に受診
してね。

スマイル君：わかったよ。おじさんに勧め
るね。なんだか安心したな。
ありがとう、保健師さん。

問い合わせ先
保健福祉センター保健予防係
(54-3811)



輝いています シリーズ③⑧



春藤 愛さん

(札内あかしゃ町)



しゅんどう・あい/昭和58年苫小牧市に生ま
れる。小学校6年生の時に幕別町に移り、今
春、幕別高校を卒業。現在は札内郵便局に勤
務し、貯金の窓口業務を担当する。

自分に負けないように頑張りたいです

今月は、この春から札内郵便局で
貯金の窓口担当として働き始めた春
藤愛さんを紹介します。

す。機械の操作もまだ慣れなく
て...でも人と接することは、
苦にはならないです」

卒業後の進路に札内郵便局を選ん
だ理由を聞かせてください。

学生時代は何かやっていたので
か？

「札内郵便局では、高校時代に年賀
状の仕分けなどをするアルバイトを
したことがあるんです。仕事は腰が
痛くなったりして、きつかったので
すが、職場の雰囲気はよかったです。
高校にきた職員採用の案内の中に札
内郵便局の募集があったので、受け
てみようと思いました」

「高校時代は茶道部に籍をおいてい
ました。部活には、お茶の先生が来
て指導してくれました。中学時代は、
コンピュータ部に所属して、パソコ
ンで絵を描いたりしていました。校
内に展示したこともありました」

もともと地元での就職を希望して
いたんですか？

小学6年生の時に幕別に来たそう
ですが、幕別町はどんな印象でした
か？

「そうですね。回りの同級生も就職先
がなかなか決まらないような就職難
の厳しい時代で、大変だなと思って
いたのですが、住み慣れた幕別とか
帯広で就職したいなと」

「親の仕事の関係で6年生の途中で
幕別に来たのですが、転校先の「白
人小学校」を読めませんでした。幕
別は自然がとても豊かで見どころ
だなと感じました」

新社会人となってまだ日が浅いで
すが、仕事をしてみての感想は？

「自分には負けない人になりたいです。
仕事で辛いことがあっても、自分の
弱さに負けたくないですね」

「毎日いっぱい、いっぱいです。お
金を扱う仕事なので、間違えないよ
うにと緊張しますし、郵便貯金の内
容もまだうまく説明できなくて、ま
わりの先輩に助けてもらっています」

「これからの抱負をきかせてくださ
い。」



募集内容

来月は平成13年6月生まれのお子さんです。5月15日(消印有効)までに写真と20字程度のコメント、住所、氏名(パパとママも)性別、生年月日を企画室までお寄せください。なお写真はお返ししませんので、ご了承ください。

わが家の
アイドル



9カ月から歩き出して、今では上手にお兄ちゃんのためにチョコチョコついて遊びまわっています。



我家のアイドル♡清です♡人見知りもなく、いつもニコニコ元気っ子です。



とっても活発な僕。常に動いていないとダメなの~。



いつもニコニコ笑顔。最近では、おつむてん、パイパイをする様になりました。



佐々木 麻以

わたしの
イラスト



PN.十夜千里



PN.深音紫苑



佐々木 腫



PN.青葉カイ

元気でなければ、老後はつまらない!

老後にそなえて、筋肉の『貯筋』をしよう! お腹編

だんだん歩きづらくなってくのも、動くのが面倒になってくのも「年だからしょうがない」なんて思っていないですか?体の筋肉はお金と同じで貯えることができます。だからこそ、いざという時のために備えておきましょう。

今回は、簡単にできる「腹筋のトレ-ニング」をご紹介します。腹筋が弱くなると、腰痛の原因になったり、姿勢が猫背ぎみになってきますよ。最初は「やさしい」内容で行い、15~20回簡単にできれば次へチャレンジしてみましょう。

動作中に関節などに痛みを感じたら、あなたにとって“きつすぎる運動”ということになります。痛みは体の危険信号なので、無理をしないで行いましょう。

《 お腹の上部トレーニング》

(回数: 10~15回程度)

やさしい

4~5枚積み上げた座布団に背中をついてから、ゆっくり起き上がっていきましょう。ポイントは、肩・首の力を抜き、お腹の筋力で上体を起こしていく感じです。お腹に手を当てて、腹筋が使われていることを意識してみましょう。



慣れてきたらチャレンジ

徐々に座布団の枚数を減らしていきましょう。

《 お腹の下部・太もものトレーニング》

(回数: 10~15回程度)

やさしい

少し猫背ぎみの姿勢でイスに座り、テーブルに両手を置いてしっかり体を支えます。息を吐きながら右足の太ももをゆっくり上げていき2~3秒止めます。息を吸いながら下ろしていきましょう。



慣れてきたらチャレンジ

同じ要領で、今度は両足を一緒に上げていきましょう。

さあ、問題だよお!

広報クイズ 182

Q. 今までに、幕別町人生学博士に認定された方の人数は?

- 44人
- 67人
- 89人

【応募方法】

はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢と、ご意見、ご要望などを書き添えてください。

【あて先】

〒089-0692
幕別町本町130番地
幕別町役場企画室

【締め切り】

5月15日(消印有効)

【前回の当選者】

応募総数は22通でした。先月号の正解は で、当選者は土肥茜さん、P.N.C.Sさん、P.N.ママ2年生さん、今野美知子さん、P.N.ももちさんです。

【毎月5人に図書券をプレゼント】



桑原敬治さん
(若草町)



▲絵画「パッチワークの丘」

わたしの
アトリエ

始めはみんなと同じく絵がかけると不安でした。風景画が好きでかいていますが、構図が難しいです。何枚かいてもなかなか納得のいく絵はありませんが、初めてかいた絵が完成したときの喜びは今でも忘れられません。



根竹八重さん
(旭町)



このコーナーでは絵画や手芸、陶芸品など、みなさんの力作を紹介いたします。

▲パッチワーク

小さいころから針と糸を持つのが好きでした。20年程前に始めたのですが、本格的には4、5年前から作品づくりをしています。今はほけ防止とストレス解消のためにやっています。

みんなの
広場

このページではみなさんからの便利や取材で聞いた意見・作品などを紹介しています。

ちよこ通信

ジュニア・サタデースクールで陸上教室はないのかな?
7月6日(土)のジュニア・サタデースクールで開催を予定しています。詳しい内容が決定次第、町の「お

しらせ」の紙面で案内と募集を行いますので、参加をお待ちしています。
(教育委員会)
久保 早苗
幕別町の大きな行事を教えてください。例えば花火大会の日など。例年、7月下旬に「まくべつ夏フェスタ」という町観光協会主催のお祭りがあり、その中で打ち上げ花火大会が行われます。詳しい日程は決まり次第、「おしらせ」に掲載いたします。
この他にも、秋には産業まつり、冬にはミニスキージャンプ大会など楽しい行事がありますので「おしらせ」で、ご確認ください。



▶ 第40回 ◀ 8,659世帯

(国勢調査・各年10月1日現在)

年	人 口					世帯数 (人)	一世帯 あたり (人)	人口密度 (人)
	総数 (人)	対前回比 (人)	男 (人)	女 (人)	65歳以上 (人)			
昭和15年	15,487	1,920	7,768	7,719		2,721	5.7	45.7
昭和25年	17,822	2,335	8,929	8,893	688	3,074	5.8	52.6
昭和30年	18,264	442	9,183	9,081	779	3,136	5.8	53.9
昭和35年	17,393	- 871	8,688	8,705	808	3,302	5.3	51.4
昭和40年	18,145	752	9,060	9,085	920	3,862	4.7	53.6
昭和45年	18,386	241	8,948	9,438	1,137	4,449	4.1	54.3
昭和50年	18,444	58	9,098	9,346	1,364	5,017	3.7	54.5
昭和55年	20,084	1,640	9,887	10,197	1,789	5,878	3.4	59.3
昭和60年	20,820	736	10,431	10,389	2,283	6,336	3.3	61.5
平成2年	21,395	575	10,347	11,048	2,865	6,639	3.2	63.2
平成7年	22,369	974	10,749	11,620	3,567	7,497	3.0	65.7
平成12年	24,276	1,907	11,624	12,652	4,498	8,659	2.8	71.3

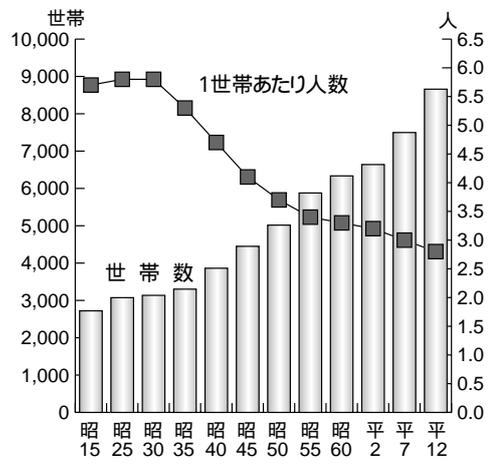
国勢調査による幕別町の人口・世帯数

第1回の国勢調査が実施されたのは大正9年。その年の幕別の人口は、11,250人でした。人口が2万人を超えたのが昭和54年。その後も人口は増加しています。

人口増に比例し世帯数も増加し、平成12年の国勢調査では、8,659世帯となっています。

1世帯あたりの人数は、昭和15年の調査時では1世帯あたり5.7人だったのが、核家族化が進んだ平成12年には、2.8人と半減しています。

65歳以上の人口は急増しており、平成12年現在で、4,498人と全体の18.53%にのぼり、およそ5人に1人は、65歳以上となっています。



人の動き《平成14年3月末日現在》
 人 口 25,270人 (- 152人)
 男 12,119人 (- 88人)
 女 13,151人 (- 64人)
 世帯数 9,549戸 (- 24戸)

広報まくべつ 2002年5月号

発行 幕別町
 編集 企画室

(〒089-0692 北海道中川郡幕別町本町130番地
 TEL 0155-54-6610 FAX 0155-54-3727)

今月号の取材で子どもたちと接する機会が随分ありました。休みになった土曜日に自然に親しんだり、親子で木工を楽しんでいる子どもたちの生き生きとした顔をたくさん見ました。何だか安心しました。

武田・廣瀬

子どもたちは、入学・進学などで緊張した4月が終わりホッと一息でしょうが。でも、習いごと、学習塾、スポーツクラブなど、過密スケジュールで息つく暇がないかもしれませんね。世はストレス社会。子どもたちも色々なストレスを受けていると思います。「キレる」という言葉も一般的になりました。「キレる」原因として、脳の我慢することを司る分野が、通常は小学校2年生くらいで発達していたのが、今の子ども達は小学校6年生くらいで、脳の発達が遅れているのが原因だといふ、ちょっと怖い説もあります。

こちら編集室です